gallery IHA May 2021 online lecture

「集合のコト＊カタ＊マチ」

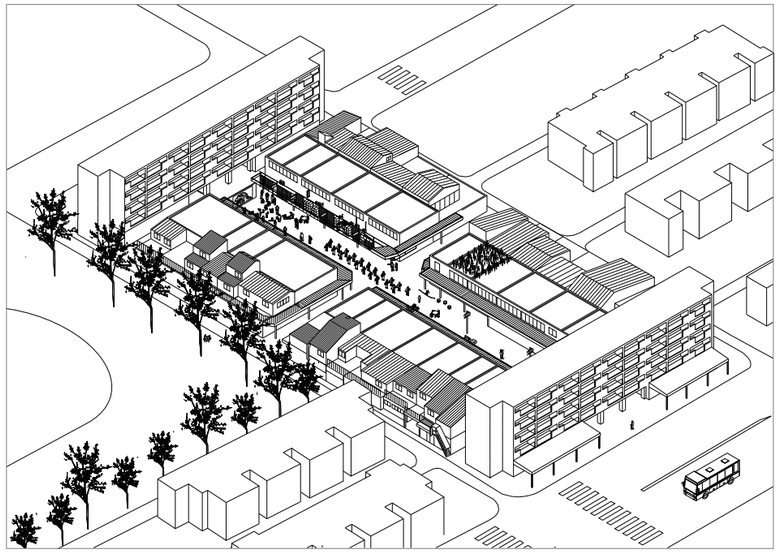
produce & curation **長谷川逸子**

集合住宅を考えるとき、多くの人々とさまざまな住まいかたや暮らしかた・そこで起こる出来事、そうした多様なる「コト」を生き生きと受けとめ引き継いでいく建築の在り方としての「カタ」、そしてそれらの「コト」と「カタ」がつくりだす「マチ」との関係性が常に思考の中にあるように思います。そんな集合の「コト＊カタ＊マチ」のありようを４つの集合住宅を通して考えていきたいと思います。（長谷川逸子）

第３回　５月 29 日（土）18 時〜 20 時　寺田真理子

集合と共有のかたち

―住まいをめぐる関係のデザイン―



桐ヶ丘団地のアイソメ（Y-GSA）

Spaces of Commoning（SoC）というテーマを掲げ、住環境の「集合と共有」に関する研究を行っています。SoC とは、人々が自発的に時間、活動、知識、そしてモノを共有し、関係性を育んでいく空間と定義しています。Commons という言葉に ing が付いているように、常に動的に変化し続けるものであるとして捉え、住まいにおける関係のデザインのありようを考えます（寺田真理子）

第１回　５月 15 日（土）18 時〜 20 時　赤松佳珠子 + 大村真也 /CAt「ROPPONGI TERRACE」
第２回　５月 22 日（土）18 時〜 20 時　千葉学「UNITE KICHIJOJI」
第３回　５月 27 日（木）18 時〜 20 時　寺田真理子「集合と共有のかたち」
第４回　５月 29 日（土）18 時〜 20 時　北山恒「洗足の連結住棟」

※５月８日（土）に予定しておりました前田達之氏による「中銀カプセルタワー」は、諸般の事情により、中止となりました。

お申し込み：https://bit.ly/39Q8W5G

参加費：1000 円（何回参加しても 1000 円）

＊レクチャーの２日前までにお振り込みください。お振り込みいただいた方に、当日、zoom 会議への招待をお送りします。

赤松 佳珠子（あかまつ　かずこ）

1990 年日本女子大学家政学部住居学科卒業後、シーラカンス（のちの C+A、CAt）に加わる 2002 年よりパートナー。2013 年より法政大学デザイン工学部准教授、2016 年より同教授。現在、CAt パートナー、法政大学教授、神戸芸術工科大学非常勤講師、日本学術会議連携会員。主な作品に、流山市立おおたかの森小中学校・おおたかの森センター・こども図書館、山元町役場、共愛学園前橋国際大学５号館 KYOAI GLOCAL GATEWAY など。渋谷ストリームのデザインアーキテクツをつとめる。主な受賞に、日本建築学会賞（作品）、日本建築家協会賞、村野藤吾賞、BCS 賞、AACA 賞など。

大村 真也（おおむら しんや）

1981 年宮城県出身。2006 年法政大学大学院建設工学科修士課程修了。2007 年より CA ｔに加わる。シニアアソシエイト、ディレクターを経て 2019 年より CA ｔパートナー。
主な作品に、宇土市立宇土小学校、流山市立おおたかの森小中学校・おおたかの森センター・こども図書館、釜石市立釜石東中学校・鵜住居小学校・鵜住居幼稚園・釜石市鵜住居児童館、山元町役場、ROPPONGI TERRACE、共愛学園前橋国際大学５号館 KYOAI GLOCAL GATEWAY など。
主な受賞に、2020 年グッドデザイン賞（山元町役場）。

千葉学（ちば まなぶ）

1960 年東京都生まれ。1987 年東京大学大学院修士課程修了。2001 年千葉学建築計画事務所設立。2009 〜 2010 スイス連邦工科大学 (ETH) 客員教授、2013 年より東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授、2016 〜 2018 年東京大学副学長、2017 年ハーバード大学 (GSD) デザインクリティーク。代表作に「黒の家」、「日本盲導犬総合センター」、「大多喜町役場」、「工学院大学 125 周年総合教育棟」など。主な受賞は、日本建築学会賞、日本建築家協会賞、BCS 賞、AACA 賞、村野藤吾賞、ユネスコ文化遺産保全のためのアジア太平洋賞など。主な著書に「そこにしかない形式」（TOTO 出版）、「人の集まり方をデザインする」（王国社）など。

北山恒（きたやま こう）

1950 年生まれ。横浜国立大学大学院修士課程修了。1978 年ワークショップ設立（共同主宰）、1995 年 architecture WORKSHOP 設立主宰。2001 〜 2016 年、横浜国立大学大学院（2007 年より Y-GSA）教授、2016 〜 2021 年法政大学教授。代表作に「洗足の連結住棟」「祐天寺の連結住棟」「HYPERMIX」など。受賞歴に、日本建築学会賞、ARCASIA 建築賞ゴールドメダル、日本建築学会作品選奨、日本建築家協会賞など。主な著書に『TOKYO METABOLIZING』（TOTO 出版）、『in-between』（ADP）、『都市のエージェントはだれなのか』（TOTO 出版）、『モダニズムの臨界』（NTT 出版）、『未来都市はムラに近似する』（彰国社）など。

Photo by YUKAI

寺田真理子（てらだ まりこ）

1990 年日本女子大学家政学部住居学科卒業。鹿島出版会 SD 編集部、1999-2000 年オランダ建築博物館 (NAi) を経て、2001-02 年（株）インターオフィスにて、Vitra Museum および東京都現代美術館と協同で「静かなる革命　ルイス・バラガン」展をキュレーション。2007-14 年横浜国立大学大学院特任講師。2014-18 年横浜国立大学大学院先端科学高等研究院特任准教授。2018 年より横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 Y-GSA 准教授。Y-GSA にて、2014 年より「Creative Neighborhoods ／次世代居住環境」をテーマに、居住環境における "Spaces of Commoning" の研究を行う。共著に『Creative Neighborhoods　住環境が新しい社会をつくる』（誠文堂新光社）など。

長谷川逸子（はせがわ いつこ）プロデュース・キュレーション

1979 年長谷川逸子・建築計画工房（株）設立。1986 年日本文化デザイン賞、日本建築学会賞を受賞。米国ハーバード大学の客員教授などを務める。1997 年王立英国建築協会名誉会員称号。2000 年第 56 回日本芸術院賞受賞。2001 年ロンドン大学名誉学位。2006 年アメリカ建築家協会名誉会員称号。第７回公共建築賞（大島町絵本館）、第九回公共建築賞（新潟市民芸術文化会館）他。2018 年英国王立芸術院第一回ロイヤルアカデミー建築賞授与。2019 年著作集『長谷川逸子の思考』（左右社）出版。

●「NPO 建築とアートの道場」は、新型コロナウイルス感染拡大のため、しばらくはオンラインでの企画を月１、２回のペースで開催していきます。ぜひ会員となって、道場の活動をご支援ください。
・個人会員１口１万円（年会費＋ご寄付）
・法人・団体会員１口３万円となります。
● 2020 年度会員のお申し込みは、gallery IHA ホームページよりお願いいたします。

https://galleryiha.wixsite.com/galleryiha/membership

お振込先：
銀行・支店：三菱 UFJ 銀行 新宿西支店 (055)
口座番号：普通 0703183
口座名義：トクテイヒエイリカツドウホウジン ケンチクトアートノドウジョウ

gallery IHA